



## 会長就任の挨拶

宮城県行政書士会

会長 佐々木 政勝

会員先生方におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から会務運営にご協力を頂いておりますこと、紙上をお借りし、厚く御礼申し上げます。

私は、令和元年5月27日宮城県行政書士会定時総会にて、再び会長に選任を頂きました。身に余る光栄と思いながら、責任の大きさを肝に銘じているところです。

さて、我が会の「理想」は「社会貢献を目指しながら、行政書士制度の拡大を図ること」であり、この「理想」から演繹されてくるのが、三つの柱の「目的」、すなわち「研修事業」であり、「自らを律する事業」「社会に働きかける事業」であると申し上げてまいりました。

今年度は、新しく始めた13の事業を、各部、委員会の中に整理する試みを進めておりますが、私は、この「目的」を実現するために、公約「戦略」のなかでも「社会に働きかける事業」の大きな側面を持つ「公共受託」に力点を置きます。

7月2日宮城県議会棟で、宮城県議会議員の県民会議32名と、宮城県行政書士会の間で、行政書士議員連盟の発足式が執り行われました。これを機縁に、所有者不明農地等の様々な行政課題について、議員の方々と連携を図ることによって職域拡大を目指したいと考えています。

また、行政書士業を傍らに議員活動をされている先生方とも、連携を深めてまいります。

こうした取り組みには、各支部、支部長先生方の協力が必要になります。その折にはご協力方、よろしくお願い致します。

7月26日（金）には、第3回目の「キックオフ大会」を開催します。

構成員全員が集まり、各部委員会の今年度の事業計画を発表し合い、宮城会の進路を共有することにより、本会は一丸となって活動を推進していくこととなります。

結びに、令和元年6月20日、日本行政書士連合会定時総会において、新会長に常住豊先生（東京会）が選任されました。新天皇が御即位なされ、元号が令和に改まって間もなくの出来事ですので、不思議な感慨を持っています。

期せずして私は、日本行政書士連合会「副会長」に選任されました。常住新会長の公約は、「行政書士制度の拡大」であり、共に目指す方向は一緒です。

8年前、東日本大震災の時には、日本行政書士連合会、各単位会、支部より1500万円余りのご支援を、また、廃車手続きの応援として、東京都行政書士会の先生方が、8月の1カ月間、延べ100人以上、石巻市役所、南三陸町に駆けつけて下さいました。

一つの恩返しでもあろうか、とも思っています。

身を挺して本会、連合会の会務に邁進してまいります。なお一層のご支援、ご指導をよろしくお願い致します。